

## 第11回 理事会

日 時：令和3年3月31日(水)14:00~17:20

場 所：本学会会議室(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、伊藤副会長、清水副会長、  
末永常務理事、秋山、池見、稲垣、太田、大谷、  
大沼、奥村、小俣、佐々木、竹村、徳永、富岡、  
西山、長谷川(淳)、長谷川(信)、林、升元、三好、  
和田各理事  
野村、齋藤各監事  
欠席者：北田、船山各理事  
(理事25名中23名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

### 1. 前回議事録の確認

・令和3年2月24日開催の第10回理事会の議事録案について承認した。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員状況の確認

・事務局長から3月31日時点の会員状況について説明があった。  
・正会員1785名、学生会員32名、名誉会員57名となり、総数は1874名であることを確認した。  
・4月1日の新入会員10名について、承認した。  
・上述により、正会員1,795名、学生会員32名(1名は正会員へ移動)、名誉会員57名の総数1,883名となった。

#### 2) 委員・部会員の承認

・研究企画委員会より1名、応用地質学教育普及委員会より1名の計2名の新任の委員について承認した。

#### 3) アクションプラン2021-2022について

・常務理事より説明があり、承認した。

#### 4) 令和3年度事業計画案・収支予算案について

・常務理事より令和3年度事業計画案、熊谷事務局長より収支予算案の説明があり、令和3年度事業計画案および収支予算案を承認した。  
・なお、令和3年度収支予算案については細部の調整を行うこととし、次回以降の理事会で確認することとなった。

#### 5) 規則の改定について

・常務理事より説明があり、規則第73条ならびに75条の一部を提案の通り修正することについて承認した。  
・担当理事より、本件の改定の背景として、ダイバーシティ推進特別委員会において、任期中に出産、育児休暇を取得した委員が復帰後に会員サービス等への意見を寄せることができるよう要望があったことの説明があった。

#### 6) 事務局長の契約更新について

・常務理事より説明があり、承認した。

#### 7) 令和3年度支部交付金の配分について

・常務理事より説明があり、承認した。

### 3. 本部からの報告事項

#### 1) 収支状況

・事務局長より、令和2年度2月期の本部収支が説明された。令和2年度の単年度で収支が見合うことを確認した。

・事務局長より、令和3年度本部収支予算案について説明がなされた(審議事項に移行)。

#### 2) マスタープラン策定について

・常務理事より、標記の説明があった。マスタープランは10年程度の長期の学会の行動計画を表すものであり、今後理事会、総務委員会、将来構想検討特別委員会においてアクションプランとの整合性を踏まえながら検討を進めていくこととなった。

#### 3) 令和3年度シンポジウムについて

・担当理事より説明があり、発表者の会場への参加は7~8名程度であり、参加者が映像に捉えられるよう席を配置すること、シンポジウム予稿集の原稿提出は1か月前程度となることが確認された。

#### 4) 令和3年度研究発表会について

・担当理事より説明があり、2件の特別セッション(地形画像診断の最前線、令和2年7月九州豪雨災害調査団報告)の応募があり採択したことが報告された。なお、開催日の関係から、原稿提出期限が若干早くなっているとのことであった。

#### 5) 「一家に1枚ポスター」について

・担当理事より説明があり、本年の5~6月の文部科学省への応募に向け、引き続き作業を行っていくとのことであった。

#### 6) 文部科学省「科学技術週間」へのエントリーについて

・常務理事より説明があり、期間中に災害地質研究会による講演会が企画されており、エントリーしたことの経緯を確認した。

#### 7) 新型コロナウイルス感染症への学会の対応について

・常務理事より説明があり、3月21日の非常事態宣言解除を受けた対応が報告された。

#### 8) 防災学術連携体への入会について

・常務理事より説明があり、防災学術連携体の法人化に伴う対応であることが確認された。

#### 9) 他学協会からの依頼

・常務理事より、鹿島学術振興財団からの研究助成応募に対する推薦機関の委嘱、日本地すべり学会による6月25日開催の「2021(令和3)年度(公社)日本地すべり学会シンポジウム」への後援依頼、阪神高速

先進技術研究所からの「土工構造物検討委員会」への委員の委嘱願い、著作物転載許可願いについて、総務委員会で承認したことが報告された。

- ・鹿島学術振興財団からの研究助成については、過去に災害地質研究部会において土木学会から助成を受けた経緯もあり、災害調査団での活用等を含めて検討していくとのコメントがあった。

#### 10) 研究公正に関するアンケートへの回答について

- ・常務理事より説明があり、編集委員会、広報・情報委員会の協力のもと、アンケートに回答したことが報告された。

#### 11) 四国地方整備局との「災害発生時における相互協力に関する協定」締結について

- ・担当理事より説明があり、調印式が3月8日に無事行われたこと、中国四国支部における担当窓口を設置したことが報告された。

#### 12) 個人情報保護規程に基づく監査の実施について

- ・清水副会長より説明があり、全ての支部において、「個人データ取り扱い台帳」、「個人情報の保護及び適正な取り扱いに関する誓約書」、「個人情報の取り扱いに関する監査報告書」の提出が必要となる。令和元年度分は2支部からの提出のみとなっていることから、令和2年度分については各支部に対応をお願いしたいとのことであった。

#### 4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

##### 1) 総務委員会

- ・常務理事より、3月23日開催の総務委員会の報告がなされた。「一家に1枚ポスター」の件で、「ジオ・メリット」が商標登録されているかどうか研究企画委員会で確認することとなった。

##### 2) 研究企画委員会

- ・3月2日開催の研究企画委員会の議事録の提出があった。

##### 3) 災害地質研究部会

- ・担当理事より、3月5日に行われた「みんなが知りたいシリーズ」執筆・出版関連の打ち合わせ結果について報告がなされた。「地質」と「地盤」の区別について、本の中で言及したほうが良いのではないかという意見が出された。

##### 4) 社会貢献と魅力発信に関する特別委員会

- ・常務理事より、3月23日開催の特別委員会の報告がなされた。日本ジオパーク学術支援連合の活動内容、事務局等体制について補足の説明があった。

##### 5) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・担当理事より、2月3日開催の特別委員会の報告がなされた。4月5日に行われる次回委員会では、

YEG (Young Engineering Geologist) についての活動報告があった。

#### 5. その他

- ・徳永理事より、3月26日に韓国応用地質学会において、日本応用地質学会として講演したことが報告された。

- ・竹村理事より、地球惑星科学連合(JpGU)の環境災害対応委員会において、日本応用地質学会から防災担当の委員が欠員状態となっているとの指摘があった。災害地質研究部会の稲垣理事より千田副部会長を推薦する旨、表明があった。